



美豆だより

特別号

令和2年3月吉日
京都市立美豆小学校
校長 高嶋 登



花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

お忙しい中、先日は学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切にし、学校・保護者・地域が一体となった取り組みを進めていくために活用させていただきます。子どもたちの学校生活をよりよいものにすることをめざし、実施しています。アンケート結果や各種学校評価指標に基づく自己評価、後期学校評価をご報告します。

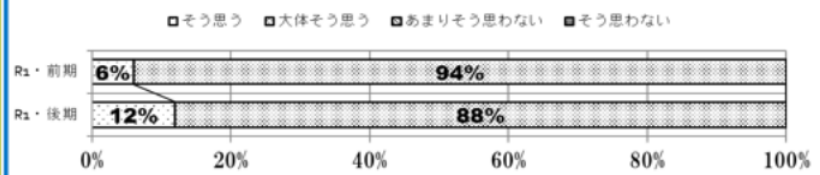
【回答率 保護者アンケート・75% 児童アンケート・98% 教職員アンケート・100%】



☆令和元年度後期学校評価☆

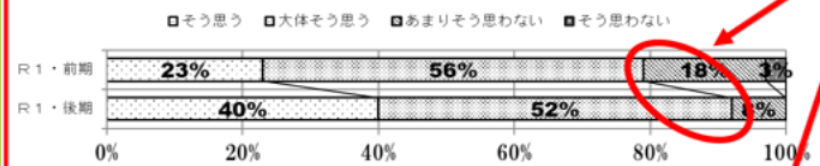
1 学力

1. (教職員) 子どもたちに確かな学力が身につくように指導している



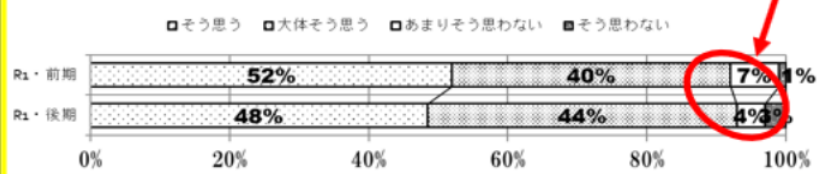
○保護者・児童の肯定的意見の高まりは、学校の学力向上に対する取り組みが伝わってきている結果だと考える。

1. (保護者) 子どもは確かな学力を身につけている



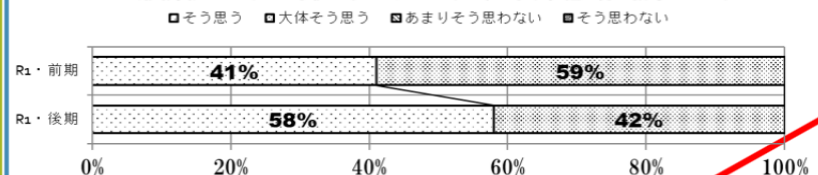
●年度当初に比べて、子どもの知識量(学力)が向上するのは、学んだ量と時間の経過を考えるとあり得る変化ではある。

1. (児童) 授業はよくわかる



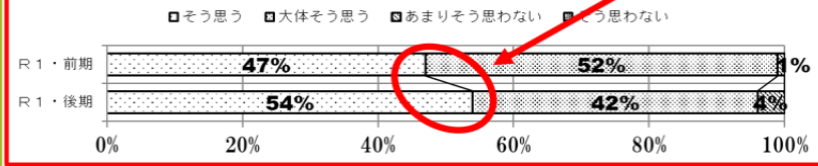
2 楽しさ

2. (教職員) 子ども達が学校で楽しく過ごせるように状況把握に努め指導している



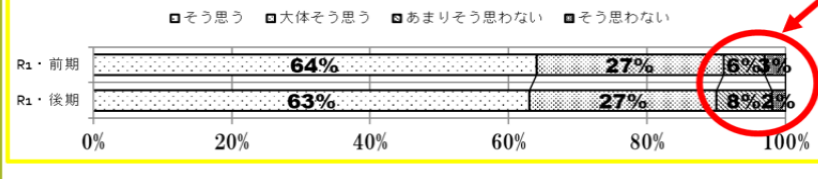
○保護者の受け止めの向上から、教職員の働きかけだけではなく、児童の様子の変化などを通して、子ども同士のつながりが強くなっていることを感じてもらえていると考える。

2. (保護者) 子どもは楽しく学校に通っている



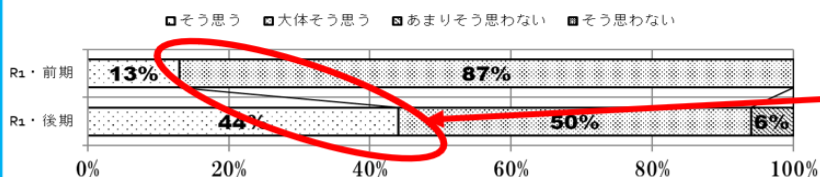
●少数ではあるが、楽しくないと受け止めている理由を明らかにしていくことが大切。本人起因のものなのか、環境など外因によるものか。それらに応じた対応が必要である。

2. (児童) 今、学校は楽しい



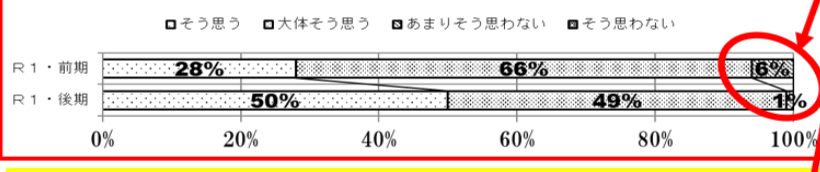
3 学習授業

3. (教職員) 教材研究に努め、わかりやすい授業を工夫している



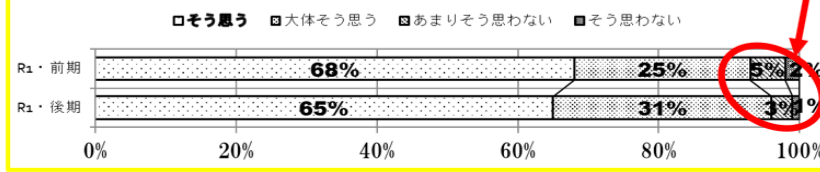
○日々行っている教材研究が、児童や保護者にも伝わり、効果を上げている。今後も継続していきたい。授業と家庭学習の連動を意識した授業づくりもさらに進めていきたい。

3. (保護者) 授業はわかりやすく工夫されている



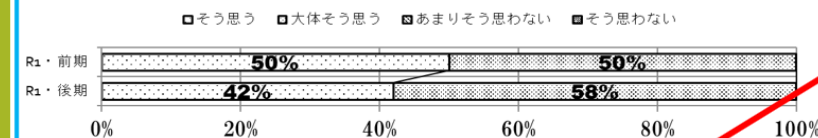
●わかりやすい授業ということが、難易度を下げた優しい授業内容になってしまうことがないように、意識していくことも大切。

3. (児童) 先生はていねいに教えてくれる



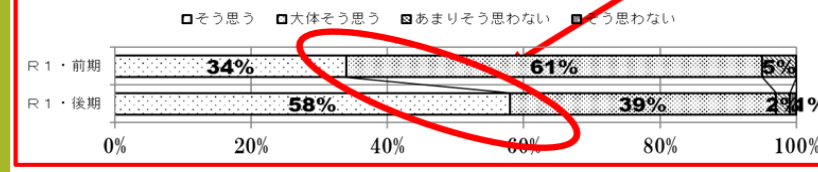
4 相談対応

4. (教職員) 子どもや保護者の思いや願いを受け止め、ていねいに対応している



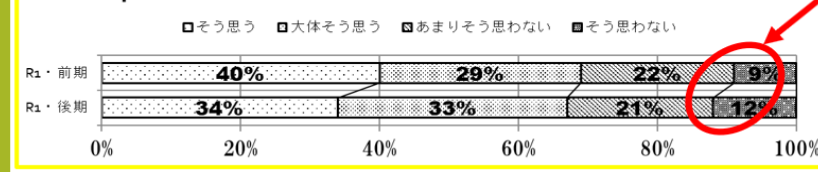
○保護者の肯定的意見が大きく上昇した。学校への信頼感の高まりと受け止めている。そこに安堵することなく、引き続き児童とゆっくり話せるような時間をもっていきたい。

4. (保護者) 教職員は子どもの思いを受け止め、丁寧な対応をしている



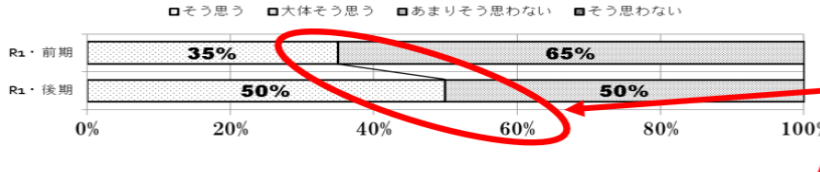
●児童の肯定的意見が下がっている原因を考える必要がある。思春期等の背景も考えられるが、いずれにしても子どもに寄り添う意識を高めていきたい。

4. (児童) 困ったことがあれば先生に相談している



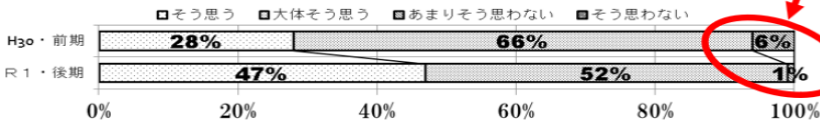
5 思いやり人権

5. (教職員) 子どもたちに人権を大切にする態度が身につくように指導している



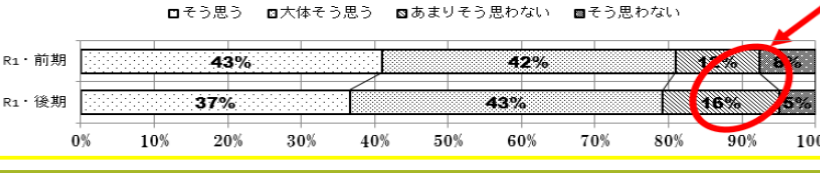
○教職員の取組に対する意識の向上が、保護者にもご理解いただけたと思われる項目。今後も人権に対する指導を大切にしていきたい。

5. (保護者) 学校は人権を大切にした学級づくりをすすめている



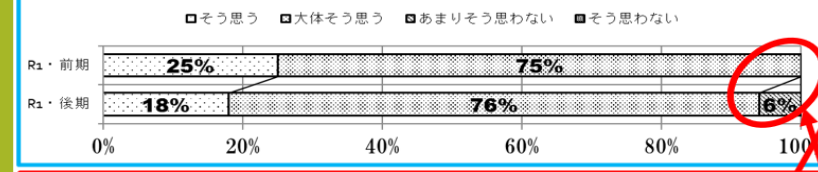
●児童の肯定的意見は下がっている。思春期に差し掛かり、友達とかかわりに悩んでいる様子も見られた。その中で、自他ともに大切にすることができるよう、今後も寄り添いながら指導していきたい。

5. (児童) 友だちや周りの人の気持ちを考えて、やさしくすることができる



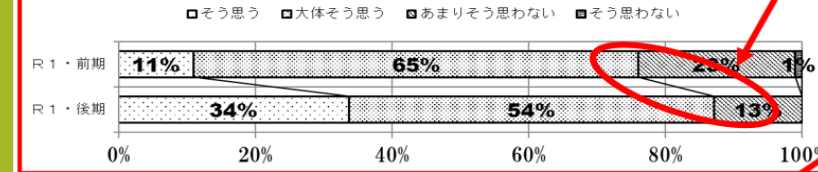
6 読書

6. (教職員) 子どもたちが進んで本を読むように取組を進めている



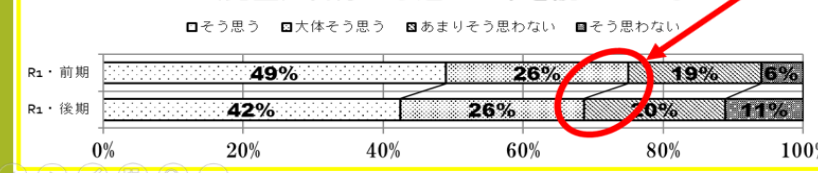
○保護者の肯定的意見が大きく上昇した。今後も家庭との連携を強め、読書を推進していきたい。

6. (保護者) 学校は、子どもが家庭で進んで本を読むように働きかけている



●教職員・児童の意識の低下が見られた。図書司書や図書ボランティアさんの取組など、読書環境の整備は継続的に取り組んでいるものの、後期は行事等の取組が多くあり、授業・休み時間等を含めて、図書館で本を読むという時間の設定が難しかったことは否めない。

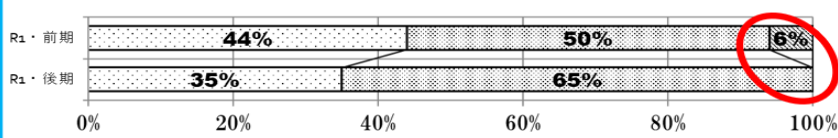
6. (児童) 自分から進んで本を読んでいる



7 宿題

7. (教職員) 子どもたちにあった課題を与え、家庭学習の定着を図る取組を進めている

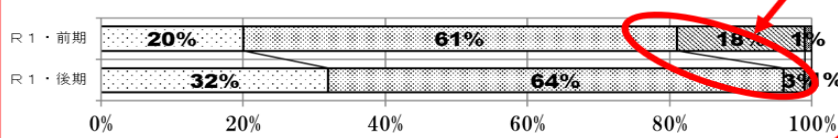
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



○教職員は、本校が取り組んでいる【授業と家庭学習の連動】をより意識した取組を続け、家庭との連携も強めていった結果、肯定的な意見が向上したと考える。

7. (保護者) 学校は子どもが家庭で学習に取り組めるような働きかけをしている

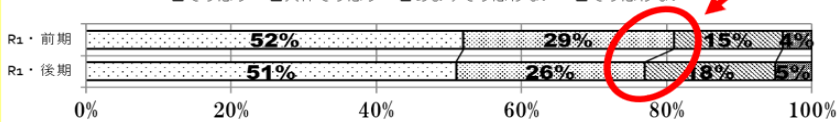
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



●児童の家庭学習の内容・実態をより詳細に把握し、家庭学習の必然性を感じさせることも大切だと考える。

7. (児童) 家で宿題など進んで学習している

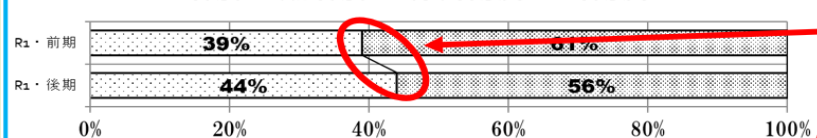
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



8 規則

8. (教職員) 子どもたちに学校・学級のルールや時間を守って生活できるように指導している

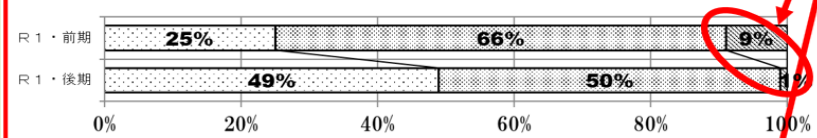
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



○教職員・保護者・児童の3者ともに肯定的意見が上っている項目。高学年を中心に、お手本となる姿が多くみられるようになった結果ととらえている。

8. (保護者) 学校は子どもに学校の決まりや社会的なルール・マナーを守るように働きかけている

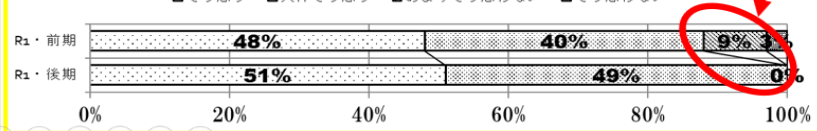
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



●日常生活の中にある、友達との約束や遊びのルールなど、小さなルールは守り切れずにトラブルになることもあるが、一つずつ解決していく支援を続けていく。

8. (児童) 学校や学級のルールを守っている

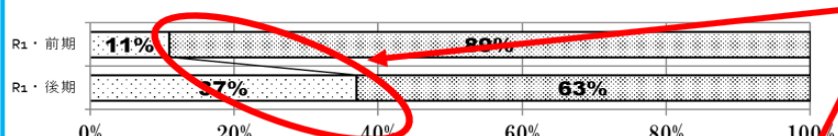
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



9 挨拶

9. (教職員) あいさつすることの大切さを指導し実践できるよう取り組んでいる

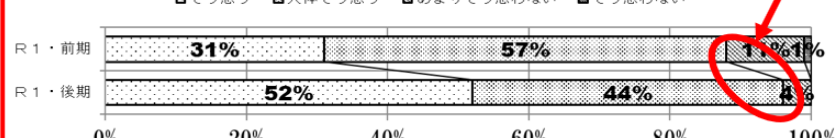
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



○PTA・地域・学校などが取り組んでいるあいさつ運動等の効果が表れていると考える。今後も継続していききたい取組である。

9. (保護者) 学校は子どもにあいさつするよう働きかけている

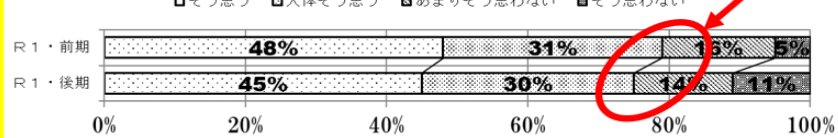
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



●自らあいさつをしようと思えるような心情を育てていくことが、今後の課題と受け止めている。

9. (児童) 自分から進んであいさつしている

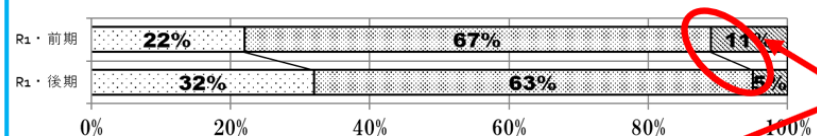
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



10 生活習慣

10. (教職員) 子どもたちに規則正しい生活習慣が身につくように取組を進めている

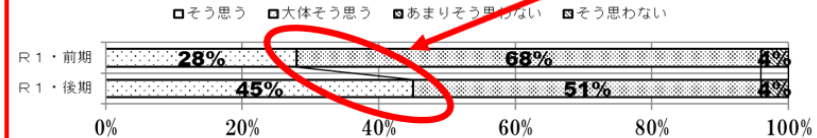
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



○長期休業明けの生活チェックの取組は、教職員からの声かけもしやすくなり、保護者・児童も意識が強まると感じている。大人からの働きかけは、今後も意識して継続していきたい。

10. (保護者) 学校は「早寝・早起き・朝ごはん」など規則正しい生活ができるように働きかけている

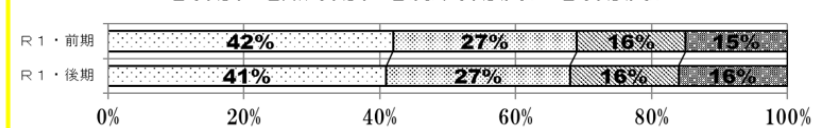
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



●児童の数値については、肯定的意見も否定的意見も、ほぼ前期と変化がない。おそらく、十分に分かっていることが要因にあるように感じる。大人からの働きかけを大切にしていきたい。

10. (児童) 学習時間やテレビ・ゲームの時間など、一日の中で時間を決め生活している

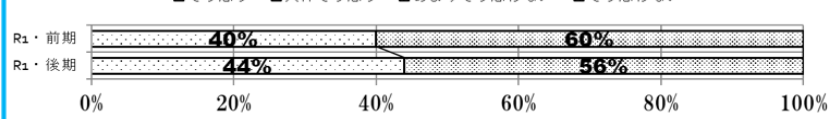
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



11 家庭連携

11. (教職員) 学習予定表や学級通信などで、学級や子どもの様子を分かりやすく伝えている

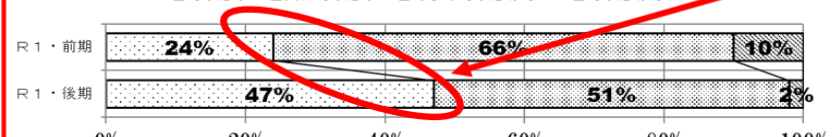
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



○学校だより・学級だより・ホームページ等、学校の様子が伝わりやすいように工夫してきたことが、肯定的意見の向上に繋がっていると考える。今後も継続していきたい。

11. (保護者) 学校は、取組や様子をわかりやすく伝える工夫や努力をしている

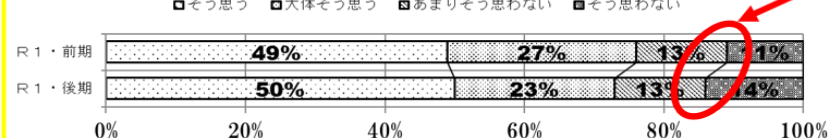
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



●家庭内で、児童との会話の糸口になるような、話題提供にもなるお便りづくりも心掛けていきたい。

11. (児童) 学校であったことを家の人によく話している

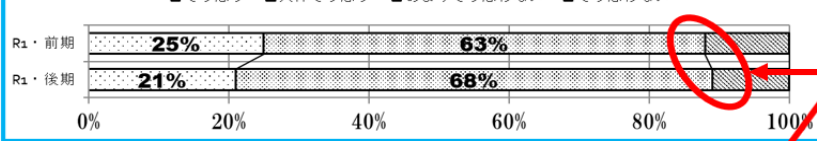
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



12 将来展望

12. (教職員) 将来展望がもてるような支援や取組を進めている

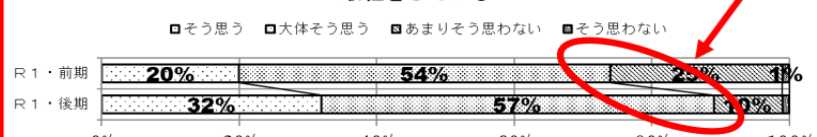
□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



○教職員や保護者の肯定的意見の向上が見られた。大人のちょっとした言葉かけで児童の意識・意欲は大きく変わると考える。今後も児童のより良いところに向けて言葉かけを意識していきたい。

12. (保護者) 学校は、子どもが将来の夢や希望をもてるような取組をしている

□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



●児童の自尊心・自己肯定感が高まるような取組や言葉かけを細やかに行っていくことで、児童の意識を高めていきたい。

12. (児童) 将来の夢や目標を持っている

□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない



今後も、学校・地域・保護者の連携・共働のもと、粘り強く取組を進めていきます。

